

Ⅰ-2 緑のボリュームの確保



視点

物理的・心理的緩衝効果を高めるため、緑地等は緑視率や緑積を大きくし、奥行きを感じられるものとしましょう。また、道路との間の塀、生垣、フェンスなどは、風の流れ等に配慮し、圧迫感のないものとしましょう。

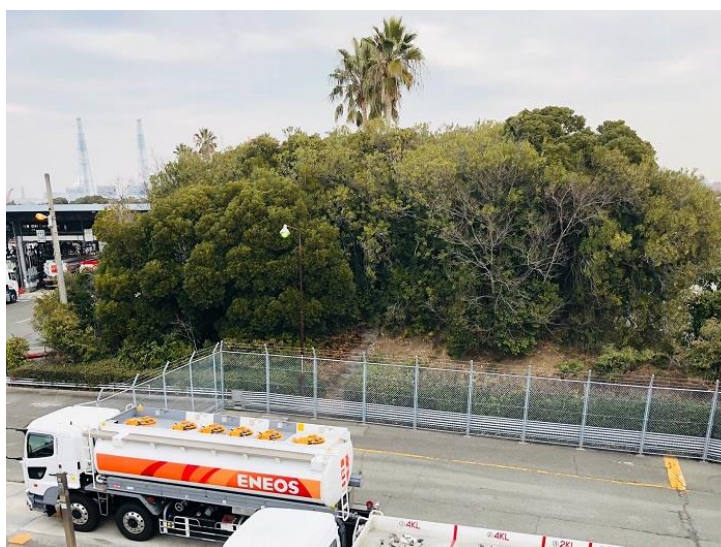
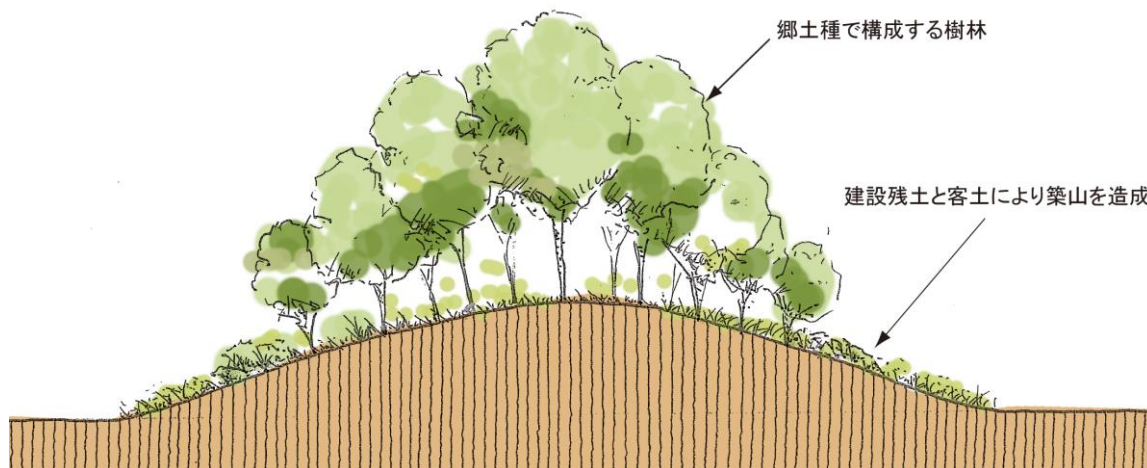
配慮事項例

- | 緑地は低・中・高木を適切に配置し、緑のボリュームを向上、また、塀を除く、低くする、隠す、敷地外から見たときの隔絶感を少なくするなど
- | 土盛、樹種の工夫等により、物理的・心理的緩衝効果を向上

参考事例

▽緑積の確保

- | 郷土種の植栽による堺らしさの演出。多様な樹種による緑積の確保 |



| 工場建設時に発生した残土を盛土して形成した工場敷地境界の緑地 |

ENEOS (株)